



1 題材名 胸骨圧迫をやってみよう！

2 題材について

児童は、これまでの学習で突然の心停止で誰かが倒れてしまった場合、救急車が到着するまでの間に、適切な救命処置をすることで、その人の命を救うことができる可能性が高くなるということを理解している。また、昨年度の学級活動では、突然、倒れた人を救うために必要なことや救命処置の手順を知り、自分にできることを考えた。しかし、胸骨圧迫やAEDの使い方を体験している児童は少ないため、実際の現場に遭遇したときに抵抗感や恐怖感がでてしまうのではないかと考えられる。

本題材は、小学校学習指導要領の学級活動（2）ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関わる内容である。本時では、胸骨圧迫を中心に体験することで中学校での学びにつなげ、将来的に正しく使えるようになることを目標としている。また、体験することで、今自分ができることを客観的に理解して、突然人が倒れたとき、「自分にできること」を落ち着いて行動できるという意識をもたせたいと考え、本題材を設定した。

3 本題材のねらい

救命処置の一連の流れを実技も含め体験することで理解を深め、実際の心停止現場に遭遇したときに、「自分にできること」は落ち着いて行動できるようにする。

4 学級活動（2）の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
目の前で倒れた人を救うための、救命処置の手順とAEDの使い方を理解している。	救命処置の手順とAEDの使い方を知り、演習を行うことで、自分にできることを考え、判断し、目の前で人が倒れたときを想定して実践している。	心停止から電気ショックまでの5分間が大切なことを知り、慌てず自分にできることをやろうとする気持ちをもっている。

5 指導計画

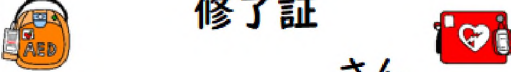

過程	期日	活動の場	活動内容
事前	昨年〇月	学級活動	○ 「自分にできることをさぐれ！」をテーマに、救命処置の手順を理解するとともに、目の前で人が倒れた際に自分にできることを考えた。
本時	〇月〇日	学級活動	○ 目の前で人が倒れたとき、慌てず自分にできることをしようとする意識をもてるようにする。
事後	授業後	家庭	○ 修了証をもとに家庭で話し合い、自分でできることをやろうとする気持ちを高める。

6 本時の指導

(1) 目標

- 救命処置の手順とAEDの使い方を理解できるようにする。 (知識・技能)
- 救命処置の手順とAEDの使い方を知り、演習を行うことで、自分にできることを考え、判断し、目の前で人が倒れたときを想定して実践している。 (思考・判断・表現)
- 心停止から電気ショックまでの5分間が大切なことを知り、慌てず自分にできることをやろうとする気持ちをもつことができるようにする。 (態度)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点・評価		
導入 8分	<p>1 あなたにしか救えない大切な命～君の瞳とともに『ASUKAモデル版』を視聴する</p> <p>2 「ミスターQからの手紙」を読んで、本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>胸骨圧迫をやってみよう！</p> </div>	<p>○メッセージビデオと「ミスターQからの手紙」を用いることで、課題に興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>○「ミスターQ」からの手紙で、これまで学んだ学習のつながりが理解できるよう支援する。</p>		
展開 32分	<p>3 PUSH コースの DVD 内の「ジョンを救え！」に合わせて、一連の流れを体験する。</p> <p>①安全の確認 ②反応の確認 ③助けを呼ぶ ④119番・AEDの依頼 ⑤呼吸の確認 ⑥胸骨圧迫 ⑦AEDの使用</p> <p>4 目を閉じて5分間を体験する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <h2 style="margin: 0;">修了証</h2> <p style="margin: 0;">さん</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="font-size: small;">救命処置の学習を最後まで頑張りました！ 大切な5分間、「急げ！でも焦るな！」 5分は意外と長い！ 勇気をもってできることをやろう！</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  <p style="font-size: x-small;">ミスターQ</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <h3 style="text-align: center; margin: 0;">救命処置の手順</h3> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>①安全確認</p> <p>②反応の確認</p> <p>③助けを呼ぶ</p> <p>④119番・AEDの依頼</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>⑤呼吸の確認</p> <p>⑥胸骨圧迫 (心臓マッサージ)</p> <p>⑦AED</p> </td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;"> ▲ 自分たちのできることをやろう！ ▲ 自分たちの体で胸骨圧迫の練習をしない ▲ 心が辛くなったら家族や先生に話す </p> </div>	<p>①安全確認</p> <p>②反応の確認</p> <p>③助けを呼ぶ</p> <p>④119番・AEDの依頼</p>	<p>⑤呼吸の確認</p> <p>⑥胸骨圧迫 (心臓マッサージ)</p> <p>⑦AED</p>	<p>○視覚的に捉えられるようにするためにDVDを視聴しながら流れのポイントを黒板に掲示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(評) 救命処置の手順、AEDの使い方を理解している。 【知識・技能】(観察)</p> </div> <p>○児童一人一人が理解できたかを確認しながら体験できるよう配慮する。</p> <p>○下記の内容を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることをやればよい。 ・自分たちの体では練習しない。 ・心が辛くなったときは家族や先生に話をする。 <p>○「心停止から電気ショックまで5分以内が目標」であることを必ずおさえる。</p> <p>○5分間が意外と長いことを実感させ、実際の現場において落ち着いて行動できるようにイメージさせる。</p> <p>○目を閉じている間に教師はミスターQからの修了証(カード)を配付する。このときに振り返りカードも配付する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(評) 今の自分にできることを考えている。 【思考・判断・表現】(観察)</p> </div>
<p>①安全確認</p> <p>②反応の確認</p> <p>③助けを呼ぶ</p> <p>④119番・AEDの依頼</p>	<p>⑤呼吸の確認</p> <p>⑥胸骨圧迫 (心臓マッサージ)</p> <p>⑦AED</p>			
まとめ 5分	<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「5分間」をどのように感じたか感想を発表する。 ・振り返りカードに記入する。 	<p>○友だちの感想を聞くことで、自分の考えを整理し、自分事と捉えられるようにする。</p> <p>○ミスターQからの修了証を見せ、本時の活動を賞賛し、中学校での学習への意欲を持たせる。</p>		

(3) 資料等

- あなたにしか救えない大切な命～君の瞳とともに『ASUKAモデル版』
- PUSHコース DVD
- 教師用シナリオ
- パワーポイント
- 黒板に貼るキーワード
- ミスターQからの手紙
- ミスターQからの修了証
- あっぱくん（児童の人数分）
- タイマー（5分計時用）
- ミスターQからのまとめのメッセージ

6年生での指導について、以下のような想いで内容を構成しました。指導の際には参考にしていただけますと幸いです。

・これまで学んできた救命教育のまとめとして、演習を行い、自分にできることをやればいいという「安心」と、自分にもできることがあるという「自信」を持たせ、中学校での学習へつなげたいと考え構成しました。

また、実践後のご意見、ご感想等をぜひお聞かせいただきたく、QRコードもしくはURLよりアンケートのご協力をお願いいたします。

URL <https://forms.gle/2xUW6vdGJ54xAbB58>



2021 Team いばらき 発達段階に応じた救命教育プロジェクト

導入用↓

<ミスターQ からの手紙>

6年〇組の諸君、初めまして。私はミスターQ。

さっそくだが、今見た映像を思い出して欲しい。

メッセージビデオの明日香ちゃんは、学校の駅伝練習中に倒れてしまった。

これは、君たちの周りでもいつ起こるか分からない出来事だ。

今日は、命を守るための流れを体験してほしい！

健闘を祈る！

ミスターQより

まとめ用↓

<ミスターQ からの手紙>

6年〇組の諸君、ここまでよく頑張った!さすが6年〇組だ。

今回、心停止から電気ショックまで5分以内が目標であることが分かったと思う。目の前で人が倒れたら、「急げ!でも焦るな!」。5分は意外と長いのだ。君たちは君たちのできることをやってほしい。

今回学んだ胸骨圧迫(心臓マッサージ)は、自分たちの体では練習してはいけない。覚えておいてくれたまえ。また、実際に心肺蘇生をしたとき、心が辛くなることもあるかもしれない。そんなときは家族や先生に話してほしい。

大切なことは、「助けなければ!」と勇気を出して、行動することである!目の前で人が倒れた時、今日のことを思い出して行動できる、そんな勇気ある人になってくれると期待しているぞ!!

ただし、1番大切なのは自分の身を守る安全確認であるということは忘れないように!

ミスターQより

